
平成25年度
五所川原市民討議会 報告書



平成25年度 五所川原市民討議会実行委員会

目次

● 市民討議会の概要 1
・事業概要	
・タイムスケジュール	
・話し合いのルール	
● 市民討議会の目的・手法 4
・市民討議会の目的	
・市民討議会の手法	
● 検討の進め方と論点（ねらい） 7
・全体テーマ	
・テーマ1～テーマ3	
● 討議シート 10
・テーマ1～テーマ3（提言）	
・投票結果	
● 市民討議会資料編 27
・実行委員会規則	
・参加者案内通知	
・参加者アンケート結果	
・新聞記事、広報	
・コーディネータープロフィール	

市民討議会の概要

■ 事業概要 ■

- 事業名 平成25年度 五所川原市民討議会
- 運営形態 五所川原市 ・ 公益社団法人 五所川原青年会議所 共催
- 開催期日 平成25年7月14日(日)
13時30分～17時
- 開催場所 五所川原市民学習情報センター
- 参加者 21人(18歳以上の一般市民)
- 参加者選出 住民基本台帳から18歳以上の男女1,500名を無作為抽出し、参加依頼を送付。47人から応募がありました。厳正なる抽選の結果33名を参加者と決定し、参加依頼を送付しました。(なお、個人情報保護のため、抽出は五所川原市、発送・集計作業は平成25年度市民討議会実行委員会事務局が担当した。)
- 討議テーマ 私たちが五所川原を創る！
～五所川原市合併10周年を迎えて私たちができること～
- 小テーマ
 - 【テーマ1】：「五所川原の10年前と現在を比べて」
 - 【テーマ2】：「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」
 - 【テーマ3】：「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」
- 情報提供① 【テーマ1】において、「五所川原市企画課職員による合併10周年に関する情報提供情報提供」を受けた。
- 情報提供② 【テーマ2】において、らぶ・ごしょがわら実行委員会による活動情報提供」を受けた。
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ①参加者を、討議グループ(1グループ約6人、計5グループ)に分けた。進行は実行委員のファシリテーターが務めた。
 - ②討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約した。
 - ③グループで集約した意見を発表したのち、賛同できる意見に対して投票を実施した。
- 実施報告 討議結果は、報告書にまとめ提言として市長に提出します。

■平成25年度五所川原市民討議会プログラム■

平成25年7月14日（日）

五所川原市民学習情報センター

TIME	内 容
13:00～	受付開始
13:30～	開会
13:35～	進行についての説明
13:50～	市民討議 テーマ1 『五所川原の10年前と現在を比べて』
14:40～	市民討議 テーマ2 『愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』
15:20～	休憩
15:30～	市民討議 テーマ3 『未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩』
16:10～	グループ発表
16:35～	グループに得票
16:40～	まとめ
16:55～	閉会
閉会后	参加者アンケート 随時解散

■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合コーディネーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、ファシリテーター実行委員が、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

話し合いのルール

- ① 自分だけ話さない
- ② 頭から否定しない。
質問として聞く。
- ③ 人の意見を最後まで聞く。
- ④ 楽しい雰囲気大切に。

市民討議会の目的・手法

■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよい暮らしのために何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要性を認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

■ 市民討議会の手法 ■

～プラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は、次のとおりです。

1. 運営組織＝実行委員会形式

五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計8人で構成され、4月15日の初会合から7月16日の開催日まで、延べ5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を越えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日初参加の市民を想定して、市職員の方にも参加していただき、実際にワークショップを行いました。

2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出を行い、1,500人に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締切日までに送られてきた参加承諾書は、47人でした。なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は実行委員会で担当しました。

3. 話し合いの方法

話し合いは、プランクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で、全部で5グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内全ての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見るために、参加者が投票を行うことで、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授平井太郎様にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プランクスツェレとは・・・

プランクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・C・ディネールドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む

市民グループである』～「プラーヌクスツェレ（ディーネル教授 著）」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

討議の進め方と論点（ねらい）

- ◆全体テーマ **私たちが五所川原を創る！**
 ～五所川原市合併10周年を迎えて私たちができること～

◇ねらい：全体テーマは、今回の市民討議会の最終的な成果目標である「五所川原合併10周年記念事業の企画」を行うことから設定しました。小テーマも成果目標に導けるよう設定すると共に、活発な意見交換ができる事、「自分（市民）に何ができるのか」を自問し、行動（まちづくりへの参加）に結びつくように設定しました。

□情報提供1

- ◆内 容「五所川原市企画課職員による合併10周年に関する情報提供」
 （討議1に先駆け約5分間説明。パワーポイントスライド）

◇ねらい：合併10周年を説明・紹介することで、討議1から過去と現在を比較する際の参考事案としての意識付けをねらいとする。

□討議1 ◆小テーマ「五所川原の10年前と現在を比べて」

- ◆論 点：五所川原市の過去と現在を比較し、公共的地域課題の確認と共有（その理由）を図る。

◇ねらい：五所川原の過去と現在を比較することで、五所川原市の10年の歩みを理解することと共に、五所川原市の魅力（特徴）と課題を共有することをねらいとする。過去と現在を比較に於いてこの地に住む価値をどこに見出して生活しているのか（「潜在的価値」）や、市民（参加者）が共通して解決したいと考える課題（「公共的課題」）が隠されており、それを参加者自身が確認するための作業にもなります。また、自己紹介と絡め行います。

◇ポイント：五所川原、日本における10年間の主な出来事を参考資料として参加者に提示します。

□情報提供2

- ◆内 容 「らぶ・ごしょがわら実行委員会による活動情報提供」
(討議2に先駆け約5分間説明。パワーポイントスライド)

◇ねらい：昨年度市民討議会からの流れ、らぶごしょの活動紹介を行うことで本市民討議会於いても「市民が地域の公共的課題の解決に向け、行政や社会に対して影響を与える」ための場であることを認識させると共に、より主体的に議論参加を促すことを狙いとする。また、予算に関しての説明も行う。

□討議2 ◆小テーマ「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」

- ◆論 点：まちづくりの企画者として、より愛し、誇れる私たちのふるさと「五所川原」を創造すると共に私たちのできる街づくりを考える。

◇ねらい：討議1 から導き出した「五所川原の価値の拡大」、「公共的課題の克服」に対して、どういう状態にしたいのかという最終目標を意識しながら対応する事業・取り組みをできるだけ多く抽出する。また、情報提供を参考に、事業の取り組み主体を「行政」「市民」「協働」の3区分に分類し、抽出した事業・取り組みがどの区分に位置づけられるのかを考えるなかで、市民と行政の関わり方をイメージし、市民の主体性の発揮の必要性を共有することをねらいとする。

□討議3 ◆小テーマ「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」

- ◆論 点：討議2で得た「私たちにできるまちづくり」をシミュレーション（成果目標を達成するために協働して行う最も有効な取り組みの確認・提案）することで参加者の主体的参加意識の向上につなげる。

◇ねらい：五所川原の過去と現在を比較することで、五所川原市の10年討議2で得た主体別の具体的な取り組みの展開の中から、私たちができる未来の五所川原創造の第1歩を最終的な成果目標を達成するために考えられる最も有効な「事業」として1つ抽出し、考えられるアイデアや具体的行動をすべて書き出す（派生図の作成）。その後、最終的に成果目標を達成させるための事業展開として「最も有効かつ自ら実践可能な行動」を発表する。

【提案例：「〇〇〇のために、私たちは△△△を提案します。
それにより□□が××になっていきます。」】

討議シート

チーム名：菊池組

ファシリテーター：菊池孝一

討議1 「五所川原の10年前と現在を比べて」

★五所川原における **良い・悪い** ところの洗い出し

討議2 「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」

★良い・悪いところを **より良く・改善するためのアイデア**

自然

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い ・観光ポイントが多くある ・金木の観光客が増加した 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ポイントを巡るツアーの企画 ・猿のいる町づくり ・雪を活かしたまつりを企画 ・雪で立佞武多 ・スタンプラリーの企画 ・五所川原を通年楽しめる企画作り
--	---

観光

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつりがある ・メロスマラソンがある ・三味線がある ・囃子がある 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五所川原のご当地キャラクターを作る ・三味線、囃子をもっとPRする ・音楽フェスティバルの開催 ・五所川原がテーマの流行歌を作る ・奥津軽ウォークマラソンを充実、継続し、県内外からも来てもらう ・駅前に観光案内板の設置 ・立佞武多の館を中心に屋根のついたアーケードを造る ・カラス防止のポスターを作る
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々立佞武多でのカラスが増えてきている。 ・立佞武多でのマナーが悪い 	

産 業

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E L Mを中心に五所川原を訪れる人が多くなった ・ 仕事と収入が増えた 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五農とコラボして食品開発 ・ 五所川原の駅弁を作る ・ ふるさと納税を2000円くらいからPRを兼ねて、納税者にはパンフレット、お菓子プレゼント ・ 体にやさしいスイーツ作り ・ ご当地野菜を使ったスイーツ作り
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場所がない ・ 中心商店街が静か ・ 昔の商店街だった地域が栄えなくなってきた 	

環 境

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活が便利 ・ 道路の整備が進んだ ・ 欲しいものが手軽に手に入るようになった ・ 買い物、食事、あそび等便利になり賑わいがでてきた
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節感がなくなった ・ 金木にスポーツする施設がなくなった ・ パチンコ店が多い ・ 専門学校がない ・ 大町の先行きが見えない ・ 公共の乗り物の便が悪くなった ・ 旧市内に施設が欲しい ・ 高齢者向けの施設、居場所が少ない ・ 人の集まる場所が分散してしまった

討議3 「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」

★私たちに出来る街づくり運動の企画

グループ名	菊池組
テーマ	五所川原を通年楽しもう！
テーマ 選定理由	<p>討議①に於いて地域の良い点として、「自然が多い」「観光ポイントが多くある」「観光客が多くなった」というものが挙げられた。</p> <p>討議②ではこの「自然」「観光ポイント」を活かしたアイデアが多く上げられ、このことから「五所川原を通年楽しむ」をテーマとした。</p> <p>「五所川原を通年楽しむ」ことを「自然」「観光ポイント」を活かした企画を作ることによって更なる観光の発展が望めるものと考え、また、市民の全体で楽しむことで地域への愛着心も育まれ、これからの五所川原の為に第1歩と考えテーマとした。</p>
企画内容	<p>企画① 季節ごとのイベント提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五所川原・金木・市浦を周る。 ・春：花見（金木）、夏：立佞武多（五所川原）、 秋：しーうらんど、冬：雪まつり ・雪まつりの企画、雪で立佞武多（雪像） <p>企画② 通年できるイベント提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリー（笑わせたらスタンプを押す） →各地域の特産品をプレゼント。赤いリンゴの水あめを復活！ <p>企画③ 宣伝、PR方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミス立佞武多で夏と冬のPR ・ネット、FB、ツイッターを使ったPR ・行事参加の宣伝 ・女性をリーダーにした少人数のグループを多く立ち上げ行事参加 <p>キーポイントは女性中心</p>

チーム名：ラーメン仙人

ファシリテーター：荒 関 晃 介

討議1 「五所川原の10年前と現在を比べて」

★五所川原における **良い・悪い** ところの洗い出し

討議2 「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」

★良い・悪いところを **より良く・改善するためのアイディア**

産 業

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E L Mができ他市から人が訪れるようになった ・ E L M周辺にお店が増えた ・ E L M周辺がにぎわっている ・ アクロスプラザがある 	<p>より良く・改善するためのアイディア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B級グルメの作成 ・ 奥津軽ラーメンラリー ・ 空き店舗を利用して（しじみ）ラーメン
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グルメスポットがあまりない ・ 市が一つになっていない ・ 旧市街に空き店舗が多い 	

観 光

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金山焼がある ・ 芦野公園がある ・ し〜うらんど海遊館がある ・ 立佞武多の館がある ・ まつり等のイベントが全国から注目されている ・ 地吹雪体験、津鉄（サポーター）ゴニンカン等、特徴的な催しがある 	<p>より良く・改善するためのアイディア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三味線のPR
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立佞武多の館にバスしか来ない ・ 観光ルートが作り辛い ・ 観光客にとって立佞武多、斜陽館がわかり難い 	

文化

良いところ

- ・自然、五能線、津軽鉄道が走る風景は有数な遺産。
- ・日常会話に津軽弁が使われているところ。

インフラ

良いところ

- ・災害が少ない

医療

悪いところ

- ・西北病院が混む。金木病院対応が遅い
- ・市浦・金木からの通院が大変

行政

悪いところ

- ・除排雪格差がある

交通

悪いところ

- ・交通マナーが悪い
- ・ヘッドホンをつけたままの自転車運転
- ・高齢者が自転車で道路の真ん中を走っている
- ・終電が早い 代行しかない

より良く・改善するためのアイデア

- ・歩道の一本化
- ・歩道の一本化自転車用道路をつくる
- ・飲酒者専用のバス

雇用

悪いところ

- ・雇用がない
- ・パート、アルバイトが多い

討議3 「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」

★私たちに出来る街づくり運動の企画

グループ名	ラーメン仙人
テーマ	ラーメンでつなぐ地域活性化
テーマ 選定理由	<p>討議①に於いて地域の悪い点として、「グルメスポットがあまり無い」「市が一つになっていない」「旧市街地に空き店舗が多い」というものが挙げられた。</p> <p>討議②ではこの「奥津軽ラーメンラリー」「空き店舗を利用したしじみラーメン」などのアイデアが上げられ、このことから「ラーメンでつなぐ地域活性化」をテーマとした。</p> <p>「ラーメンでつなぐ地域活性化」の企画を作ることによって更なる地域活性が望めるものと考え、また、市民の全体で楽しむ企画を行うことで地域が一つになり、これからの五所川原の為に第1歩と考えテーマとした。</p>
企画内容	<p>企画① 市町村合併五所川原ラーメンの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地区それぞれの具材を入れた五所川原ラーメンの開発 ・10周年ラーメンをコンペで決定 ・五所川原：つくね芋、金木：馬肉、市浦：しじみ、市浦牛 <p>企画② 奥津軽ラーメンラリーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプ型で参加店を募集（20店舗位） ・必ず3地区のお店を ・達成者には抽選で立佞武多、花火特等席など ・商品をBIGにしてTV広告をうつ ・市民で取材、レポーターになって食べ歩く ・ホームページでお店を紹介 ・のぼりなどで参加店がわかるようにする ・ラーメンラリーリーフレットを作成しお店の紹介 <p>企画③ 空き店舗を利用して（しじみ）ラーメンの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時に利用 ・軽トラ市のように ・遠い店に参加していただく

チーム名：街おこし隊

ファシリテーター：佐々木 篤 史

討議1 「五所川原の10年前と現在を比べて」

★五所川原における **良い・悪い** ところの洗い出し

討議2 「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」

★良い・悪いところを **より良く・改善するためのアイデア**

商 業

良いところ

- ・文化、スポーツ、観光施設等の充実
- ・商業施設が充実してきた
- ・エルムの街があって、若者に活気がある

悪いところ

- ・スポーツ施設が欲しい（アリーナ）
- ・道の駅がない

観 光

良いところ

- ・特産物がたくさんある
- ・立佞武多は今や全国的にも有名になった
- ・観光地として成長している

悪いところ

- ・観光客は来るが宿泊はしない

より良く・改善するためのアイデア

- ・観光客も立佞武多に参加
- ・観光と宿泊のセットツアー
- ・観光、湯めぐりツアー
- ・農業体験や雪下ろし体験等宿泊
- ・古民家への宿泊
- ・レンタサイクル
- ・レンタカー
- ・インパクトある佞武多に

自 然

良いところ

- ・四季がある

行政

良いところ

- ・市民参加型の事業の取り組みがされるようになった

悪いところ

- ・五所川原の『ウリ』がよくわからない

交通

良いところ

- ・交通の便が良い
- ・道路たくさんでき、短時間で移動ができる

医療

良いところ

- ・自治体病院の再編成で高度医療の拠点が建設中である

産業

悪いところ

- ・駅前がさみしい。明るさがない
- ・アーケードが無くなった
- ・本町、駅前通りがさみしい
- ・町を歩くとたまにゴミが落ちている

より良く・改善するためのアイデア

- ・県外の人意見を聞いてみる

討議3 「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」

★私たちに出来る街づくり運動の企画

グループ名	街おこし隊
テーマ	四季を通じた観光体験を提案し、通年で観光客を呼び込む
テーマ 選定理由	<p>討議①に於いて、「観光客は来る（立佞武多の時）が宿泊しない」という悪い点が挙げられた一方、「立佞武多は今や全国的にも有名になった」「観光地として成長している」「四季がある」など良い点があげられた。</p> <p>討議②では立佞武多の時期以外にも五所川原に来てもらうために、どんな方法があるのか討議した結果、「四季がある」利点を生かせばどうかという結論に至り、「四季を通じた観光体験を提案し、通年で観光客を呼び込む」テーマを選定した。</p> <p>これにより、立佞武多の時期以外にも観光客を呼び込む可能性ができ、地域の活性化につながるものと考えられる。また、四季折々の五所川原の良さを市内外で周知する機会となると考えられる。</p>
企画内容	<p>企画① 市役所に四季観光の提案書を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民で五所川原にある四季折々の良い点を見つける。 ・見つけた中で観光に結び付きそうな方法を考え、市役所に今までにない新しい観光客集客方法を提案する。 <p>企画② 高校生指導による跳人体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が跳人を指導することにより、参加する新しい佞武多の楽しみ方、青少年育成ができる。 <p>企画③ 食文化を通じた四季体験の企画提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山菜取りやりんご収穫など体験し、地元料理を体験を行うことにより四季を通じての集客を行う。体験を企画するための人材探しや食文化を探し求める。 <p>企画④ 立佞武多の参加証作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る立佞武多から参加する立佞武多にすることにより、観光客のリピーターを増やし、また、リストバンドなどの証明書を作ることによりカラス跳人の抑制につながる。

チーム名：だんぶり

ファシリテーター：神 成 修太郎

討議1 「五所川原の10年前と現在を比べて」

★五所川原における **良い・悪い** ところの洗い出し

討議2 「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」

★良い・悪いところを **より良く・改善するためのアイデア****産 業**

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E L Mに人が集まる ・ E L Mができたことにより商業圏が拡大した ・ E L Mなど大型商業施設があり県内外でも有名 ・ 軽トラ市がある 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街中にカフェ(お茶のみ)をつくる ・ 無料で出店できる場所を市街地につくる ・ 商店街の充実 ・ 駅周辺の店を安く貸し出す ・ 出かけていきたくなる商店街づくり ・ 宅配サービス、手ぶらで買い物 ・ アウトレット市、歩行者天国の定期開催 ・ ごしょ山宝汁を駅前で広める ・ 野菜市をつくる、月1回で ・ 店が少なくなって困っているので、週1でも販売店があればどうか
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺がさみしい、活気がない ・ 使われなくなった建物が多く残っている ・ 中心商店街がさびれている ・ 都市開発の先が見えない ・ 旧商店街が解体され空き地が多い 	

観 光

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立佞武多が有名になり、観光客で賑わうようになった ・ 立佞武多を中心に観光PRしているところ 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生が気軽に参加できる立佞武多に ・ 駐車場を増やすとより便利になる ・ 民宿をつくってはどうか
<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設が少ない 	

自 然

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい岩木山を眺めるとホッとする ・ 里山の風景

交通

良いところ

- ・自転車で移動できる。
- ・津軽鉄道や339バイパスが整備され、市内へのアクセスが良くなった。
- ・歩道が広い。

環境

悪いところ

- ・老人住宅がない。
- ・中高年シニアの集まる場所が少ない。
- ・スポーツ施設が少なく困っている。

行政

悪いところ

- ・除雪が遅い。
- ・ゴミ処理の能力が足りない。

より良く・改善するためのアイデア

- ・他市などのごみ処理施設を使わせてもらう

雇用

悪いところ

- ・若い人の働く場所が少ない。

より良く・改善するためのアイデア

- ・市が主体となって企業セールスを行う。（補助金交付など）

教育

悪いところ

- ・廃校が残っている。
- ・児童センターが小3までの受け入れで困っている。

より良く・改善するためのアイデア

- ・廃校を活用した教育、体育施設
- ・児童センターの受け入れ制限をあげてもらう

討議3 「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」

★私たちに出来る街づくり運動の企画

グループ名	だんぶり
テーマ	駅周辺から始まる地域活性化
テーマ 選定理由	<p>討議①に於いて商業面のマイナス点として、「駅周辺がさみしい、活気がない」「中高年シニアの安らぐ場所が少ない」というものが挙げられた。</p> <p>討議②では「駅周辺がさみしい、活気がない」「中高年シニアの安らぐ場所が少ない」点を解消するためのアイデアが数多く上げられ、駅周辺の活性化は地域全体に波及するものと考えテーマとした。</p> <p>「駅周辺から始まる地域活性化」の企画を作ることによって更なる地域活性が望めるものと考え、また、市民の全体で楽しむ企画を行うことで地域が一つになり、これからの五所川原の為に第1歩と考えテーマとした。</p>
企画内容	<p>企画① 屋台村をオープン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋台村への出店を希望するスポンサー企業を募る。 ・夜だけでなく裕の営業も。 <p>企画② 月1回の歩行者天国の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケットの開催 ・五所川原、金木、市浦の特産物、郷土料理の出店 <p>企画③ 屋台村・津軽鉄道利用者の駐車場割引→1日300円</p> <p>企画④ 送迎車の創設</p> <p>全体を通じて老若男女が集まれる場所の提供</p>

チーム名：ごしょりん もりあげ隊 ファシリテーター：成 田 和 代

討議1 「五所川原の10年前と現在を比べて」

★五所川原における **良い・悪い** ところの洗い出し

討議2 「愛し、誇れる私たちのふるさと『五所川原』」

★良い・悪いところを **より良く・改善するためのアイデア**

自然

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・海の幸、山の幸がおいしい ・山、川、海など自然が豊かである ・芦野公園の桜がきれい 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦野公園の桜の手入れを行い、観光客アップ ・津軽三十三観音巡りを行う
--	---

観光

<p>良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エルムが便利 ・他市町村からも遊びに来る人が多い ・観光に対するPRが全国版 ・立ねぶたが有名になって観光客が多い ・軽トラ市 ・エルムに行けば何でも購入できる 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五所川原市とコラボした商品開発 ・季節毎にイベントを開催 ・立ちねぶたの衣装を統一する ・カラスはねとを無くす ・観光地の見所を広げる
--	---

交通

<p>悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛び地になっている ・お年寄りが自由に歩けない ・交通不便 ・駅周辺が暗くて怖い 	<p>より良く・改善するためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前買い物マラソン (割引できる仕組みを作る)
--	---

雇用(人)

悪いところ

- ・仕事がない
- ・地元に産業が少ない
- ・給料が安い
- ・駅前が目立たない
- ・市内はシャッターが目立つ

より良く・改善するためのアイデア

- ・誘致企業
- ・発電事業をもってくる
(バイオマスなど)
- ・エルムから駅前に足を運ばせるためにエルムを広告に使う

行政

悪いところ

- ・五所川原の宣伝不足
- ・五所川原の広報誌がいまいち
- ・市の発展意欲がみられない
- ・財政の無駄遣いが多い
- ・信号が嫌

より良く・改善するためのアイデア

- ・Webサイトやインターネットを活用し、PR
- ・ゆるキャラのごしゅりんをもっと目立たせる
- ・ご当地戦隊を作ってアニメ特撮を放送
- ・五所川原の萌えキャラを作る

その他

悪いところ

- ・市民が市に興味がない
- ・温泉がない
- ・宿泊場所が少ない
- ・体育館がない

より良く・改善するためのアイデア

- ・学校で五所川原について教える
- ・地域のふれあい体験を開催する

討議3 「未来の五所川原の為に私たちの踏み出す一歩」

★私たちに出来る街づくり運動の企画

グループ名	ごしょりん もりあげ隊
テーマ	ごしょりんと五所川原を盛り上げる
テーマ 選定理由	<p>討議①において地域の良い点として「エルム」や「立ちねぶた」などの観光や「自然が豊か」があり、悪い点として雇用問題や行政に対する要望が挙げられた。</p> <p>討議②では「観光」「行政」に焦点が当てられた。特に観光については期間が限定されるものが多く、短期的な雇用にしかならないため、通年観光につなげられる素材を模索する必要があるとの意見が出された。更に五所川原市の観光を盛り上げるために既存の観光材料を利用し、まだ周知されていない隠れた五所川原市の魅力を発信できる活動が必要ではないかとの意見が出た。</p> <p>そのような意見を総合し、五所川原市のゆるきゃら・ごしょりんをベースとし、五所川原市の魅力を発信する活動を行うとともに市民参加型のイベントを企画し、市民一人ひとりが五所川原を知り、愛し、誇れる街作りを推進するために本テーマとした。</p>
企画内容	<p>企画① ごしょりんのサイドストーリーを作る。 ・サイドストーリーの中に五所川原各地の特産品と観光地を組み込む。</p> <p>企画② WebサイトなどのインターネットでPRする。 ・ごしょりん公式Webサイトを作る。</p> <p>企画③ 「ごしょりんと遊ぼう！」イベント開催 ・児童・親子・家族等を対象とし、誰もが楽しめるイベントを開催する。 ・五所川原市の内容を盛り込んだごしょりんクイズを用いる。</p> <p>企画④ 「ごしょりんバスツアー」開催。 ・ごしょりんと巡るごしょりんお勧め五所川原の観光スポットバスツアー。 ・痛バスを製作し、若者のごしょりん人気を高める。 ・エルム120円バスにごしょりんを起用し、ごしょりんを周知する。</p>

投票結果

- 1位 グループ名：街おこし隊 6票
テーマ：四季を通じた観光体験を提案し、通年で観光客を呼び込む
- 1位 グループ名：ごしよりんもりあげ隊 6票
テーマ：ごしよりんと五所川原を盛り上げる
- 3位 グループ名：ラーメン仙人 5票
テーマ：ラーメンでつなぐ地域活性化
- 3位 グループ名：だんぶり 5票
テーマ：駅周辺から始まる地域活性化
- 5位 グループ名：菊池組 3票
テーマ：五所川原を通年楽しもう！

市民討議会 資料編

平成25年度 五所川原市民討議会実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、平成25年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、平成25年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 平成25年度五所川原市民討議会実行委員会会則（以下「会則」という。）の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 市民討議会の実施に関すること。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関すること。

(組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成26年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

(3) 書記・会計 若干名

(4) 監事 2名

2 役員は委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(経費)

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

(会計年度等)

第11条 実行委員会の会計年度は、この会則の施行日から始まり、平成26年3月31日に終わる。

(解散)

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この会則は、平成25年4月15日から施行する。

■参加者案内通知■

平成25年 6月

市民の皆様へ

五所川原市長 平山 誠 敏

公益社団法人 五所川原青年会議所
理事長 小嶋 英嗣

～活力ある・明るく住みよい豊かなまち～
「五所川原市民討議会」への参加のお願い

初夏の候、ますますご清栄のことと存じます。

この度、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所は、平成25年度の取組といたしまして、「五所川原市民討議会」を協働で開催することとなりました。（広報ごしよがわら（6月1日号）に内容が掲載されています。）

市民討議会では、さまざまな市民の皆様から、幅広い意見を出し合ってください、市民参加のきっかけづくりと、市政への市民参画と協働を推進していくものです。

この市民討議会への「参加のお願い」は、18歳以上のすべての市民の中から1,500名を無作為抽出し、送付させていただいています。

つきましては、貴方様が無作為抽出により選出されましたので、趣旨をご理解のうえ、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1 日 時 | 平成25年7月14日（日）13時30分～17時00分 |
| 2 場 所 | 五所川原市民学習情報センター |
| 3 討議会のテーマ | 私たちが五所川原を創る！
～五所川原市合併10周年を迎えて私たちができること～ |
| 4 謝 礼 | 3,000円
(詳細は決定通知時お知らせいたします。) |
| 5 参加定員 | 30名程度 |
| 6 進め方 | 参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿った意見を出し合ってください、グループごとにまとめていただきます。 |

- 7 回答方法
- (1) ご参加いただける場合
お手数ですが、別紙の承諾書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒により、平成25年 6月24日までにご返送ください。
- (2) 不参加の場合
お手数ですが、別紙アンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒により、平成25年 6月24日までにご返送ください。
- 8 参加者の決定 **参加の申込みが多数となった場合は、申し訳ありませんが、抽選とさせていただきます。**
- 9 その他
- 託児サービスなど
参加を承諾される方で、託児を希望する場合は、事前にご連絡ください。(対象1歳から未就学児まで)
 - そのほか、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

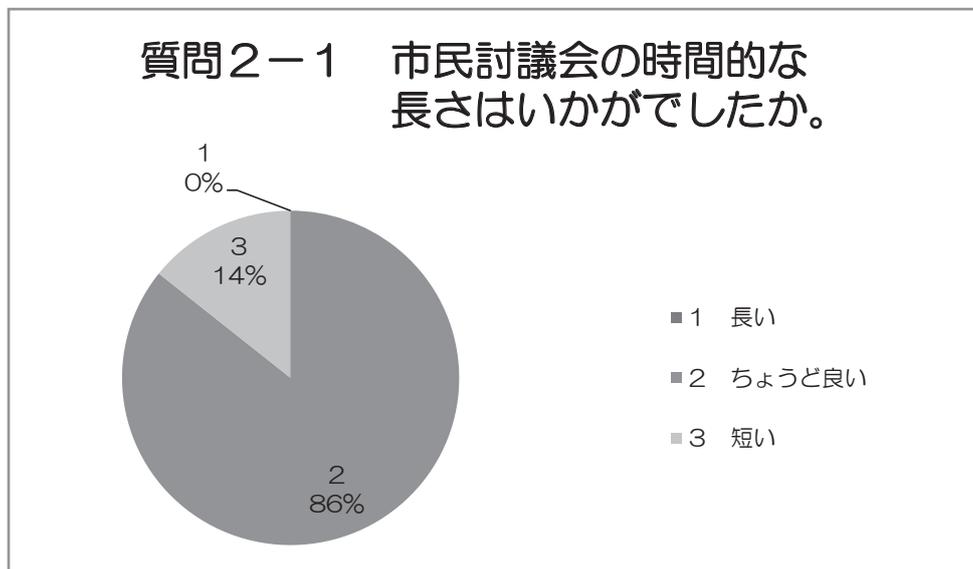
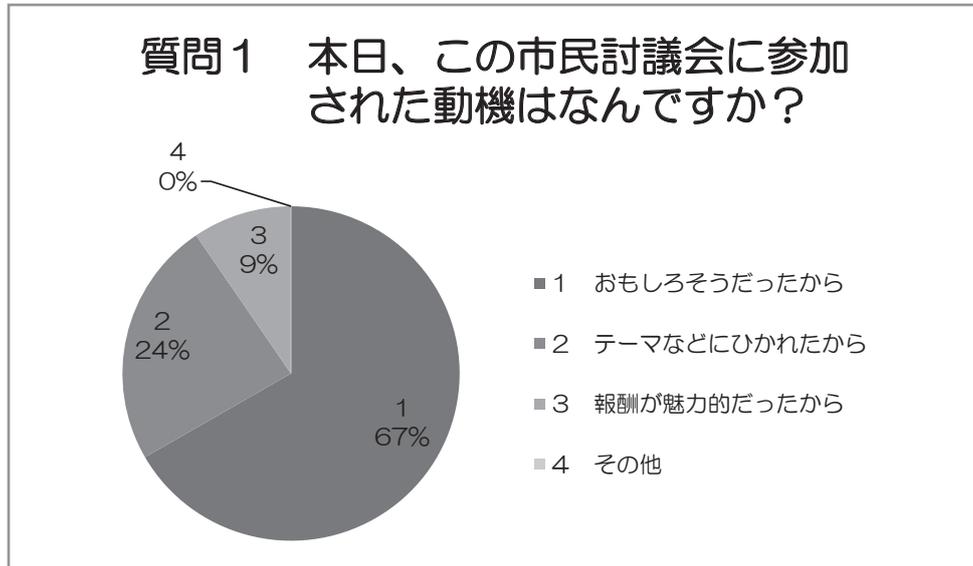
五所川原市民討議会実行委員会事務局
(公益社団法人 五所川原青年会議所内)
〒037-0052 五所川原市字東町 17-5 商工会館
TEL 0173-35-4049
(10:00~17:00、土日祝を除く)
FAX 0173-35-4044

五所川原市財政部企画課
〒037-8686 五所川原市字岩木町 12
TEL 0173-35-2111 内線 2152~2154
FAX 0173-35-3617

■各種アンケート■

参加者アンケート結果

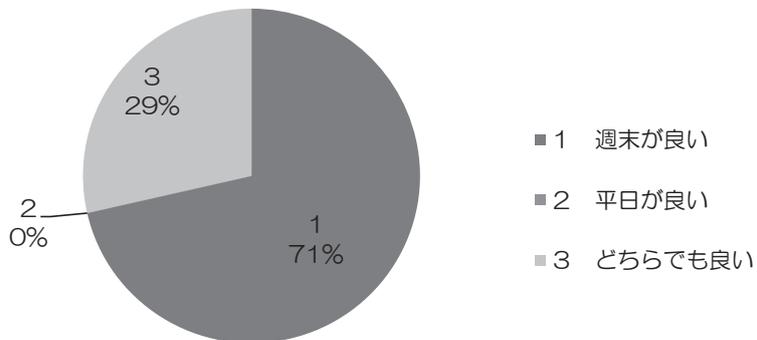
参加者21人に対して



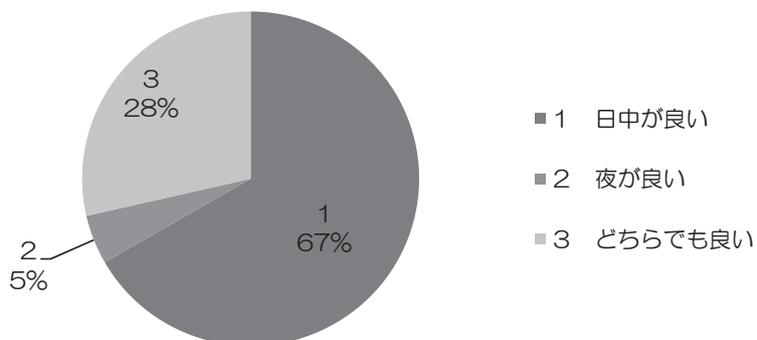
質問2-2 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。
ちょうど良い時間はどのくらいでしょうか

- 4時間 1名
- 6時間 1名
- 8時間 1名

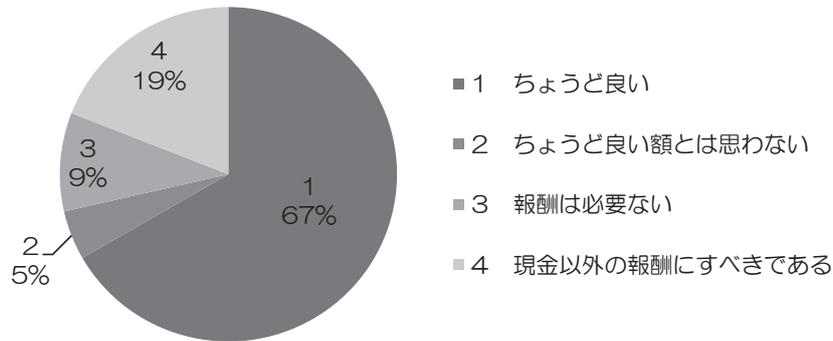
質問2-3 市民討議会を開催する曜日 についてはいかがでしたか。



質問2-3 市民討議会を開催する時間帯 についてはいかがでしたか。



質問3 市民討議会の報酬の額についてはいかがでしたか。



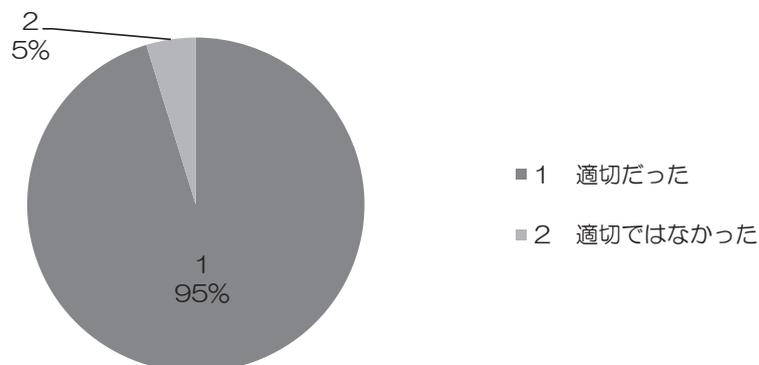
現金以外の報酬にすべきである。具体的には？

- 商品券など
- 特産品、おみやげ

ちょうど良い額とは思わない。適切な額は（ ）円。について

- 5,000円

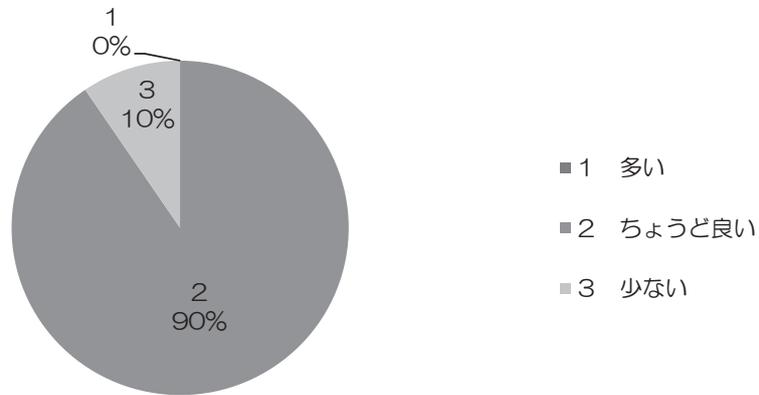
質問4-1 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか。



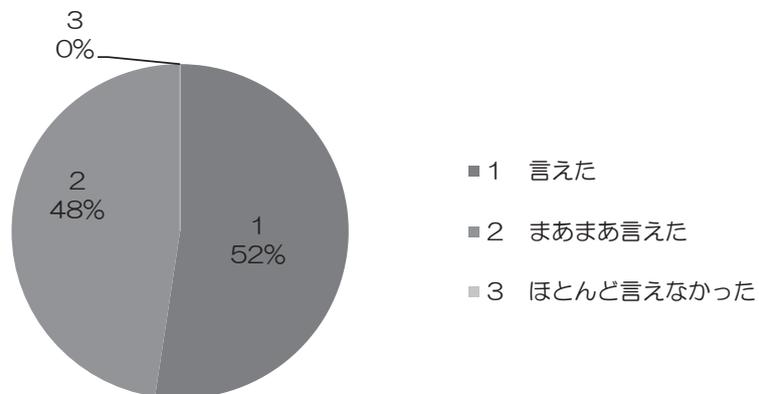
質問4-2 「適切ではなかった」とお答えになった方は理由をお書き下さい。

- 観光も確かに重要だが、インフラ面の討議も必要だと思った。

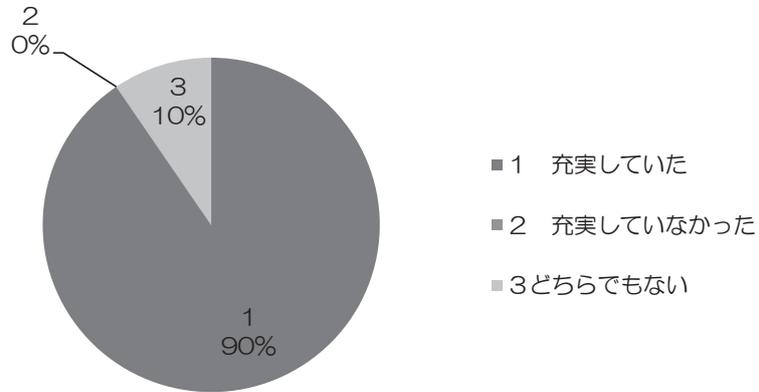
質問5 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか。



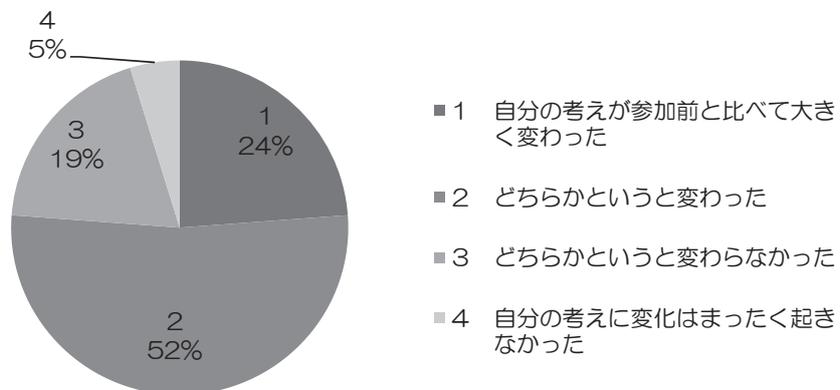
質問6 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか。



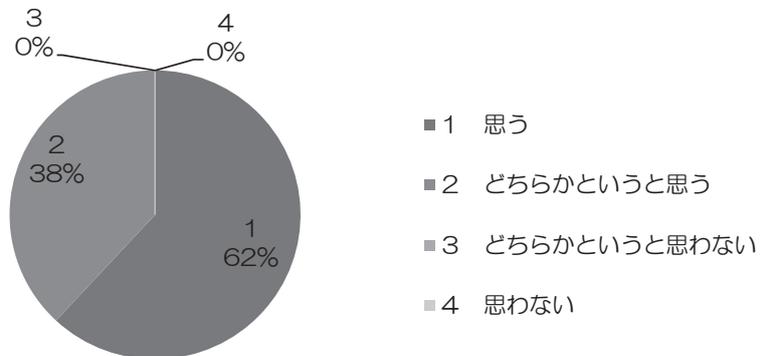
質問7 参加されての充実感をお尋ねいたします。



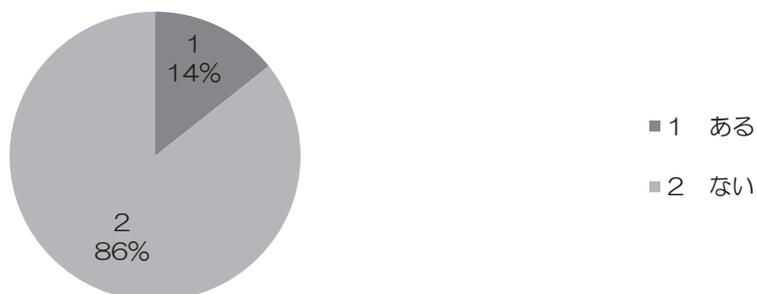
質問8 討議していく中で、「五所川原市」に関する考えに変化はありましたか。



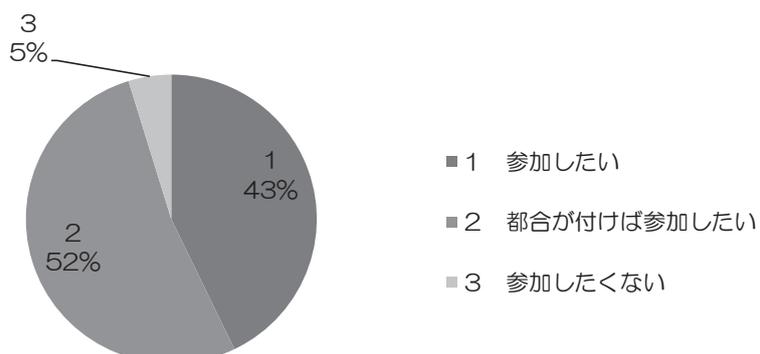
質問9 討議を通して、五所川原市の問題点や今後につながるアイデアが明らかになったと思われませんか。



質問10-1 これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか。



質問10-2 市民討議会にかぎらず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか。



質問 1 1 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？なんでも結構ですので感想をお書き下さい。

- 五所川原を良くするために、考えることが出来た。
- 皆さんの活発な意見が出て良かったと思う。学生から老人までいろいろな意見があっっておもしろかった。
- 大人方の意見が、十分に聞くことができ、良い刺激になった。
- 自分が疑問に思っていた事が、わかってよかった。
- 十代の若い方と接する事ができ、違う視点から五所川原をみつめる事ができた時間を得て感謝しています。
- 各グループの意見が共通しているように思いました。五所川原市への思いは同じように感じました。
- 楽しかったです。
- もっと時間を設けるべきだと思う。
- 大変有意義でした。
- 参加者のみなさんが、活発な意見を言うことに新鮮な驚きをおぼえた。
- 五所川原のことを見つめ直し、考える機会になり、楽しかった。様々な意見を聞いたこと、今まで面識のなかった人に会えて良かったです。
- 思った事が通ってくれれば、すごくうれしい。グループの横のつながりが出来れば勇気です。
- とても楽しかったです。普段思っていることをたくさん言えました。ありがとうございました。
- 自分が市に対して何にも考えてこなかったことがわかった。
- 今日のような話し合いは久しぶりだった。
- 色々な意見が聞いてよかったです。
- 結構楽しかったです。
- この討議会でもっと良くなってほしい。
- 市民としての意識が高まった。色々な人と話せて楽しかった。

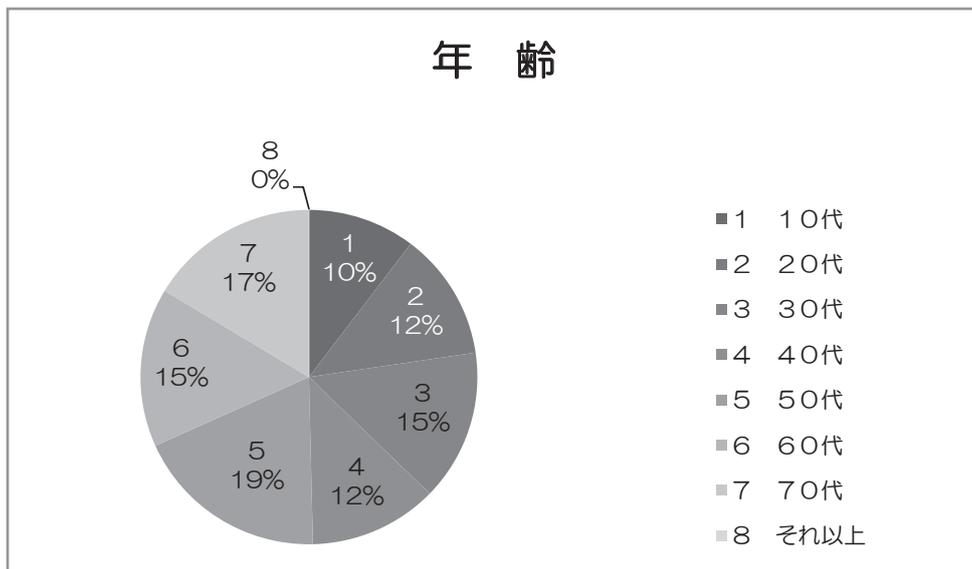
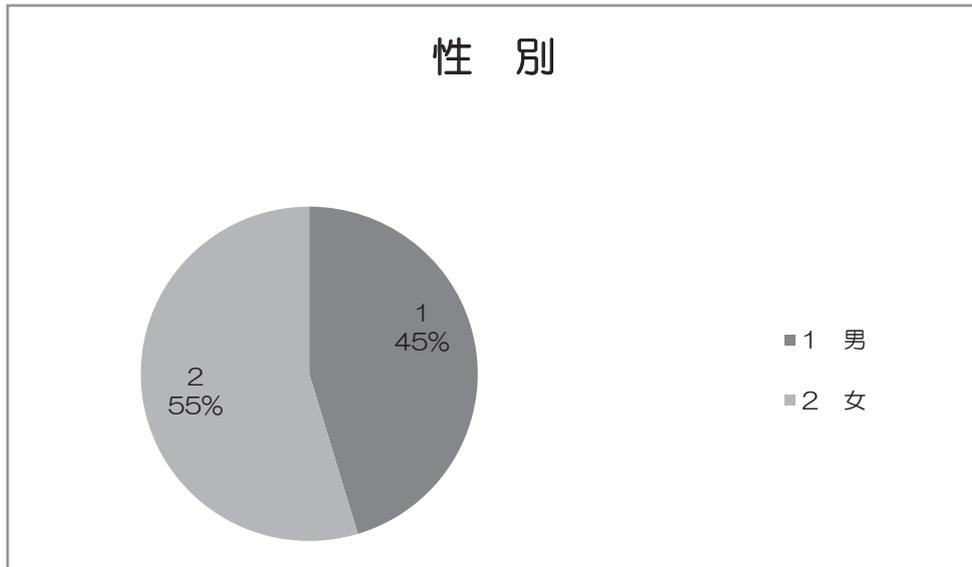
 その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

- 準備等、お疲れ様でした。
- 五所川原市民のパワーと行政の姿勢に五所川原はもっともっと良くなる街だと確信しました。ありがとうございました。
- 今回だけではなく、色々な機会で市民の意見が言えるようになればと思った。
- 今後もこういう機会を設けて欲しい。

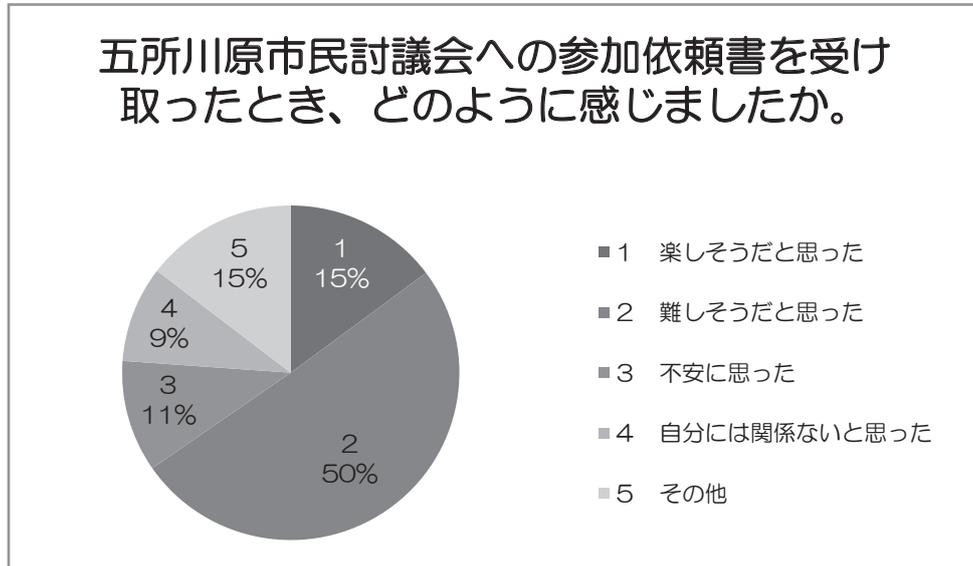
ご参加いただけない方に対するアンケート結果

397人回答 / 1,500人発送に対して

1 あなた自身について



2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか。

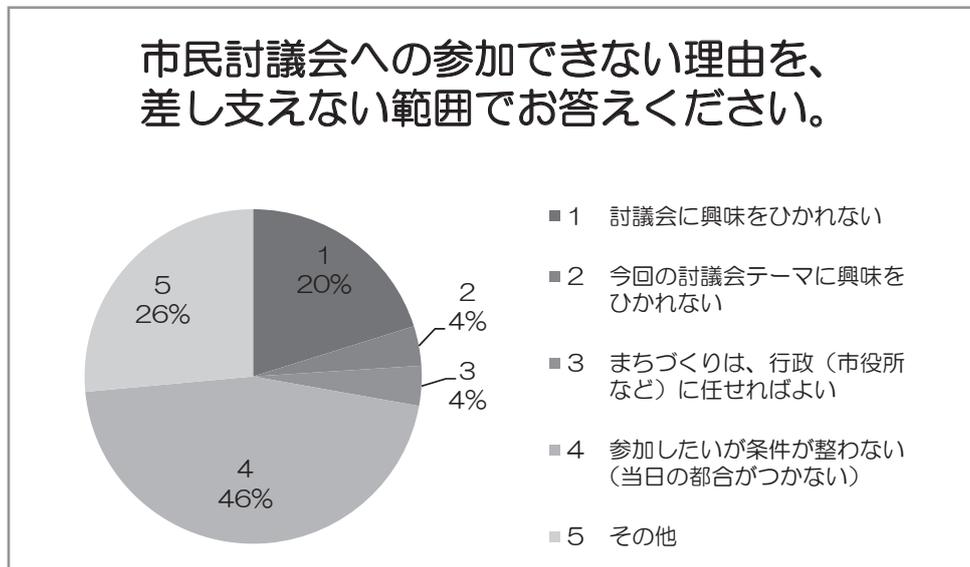


その他の意見

- 次世代に任せる。
- 開催方法に問題有り。
- 特に何も思いませんでした。
- そのような事をやっているのかと思った。
- 討議会は名目だけで実際は行政の方でやると思う。
- 大変良い事だと思った。
- お金もらえるなんてスゴイと思った。
- 広報見てないので内容がわからないのとすみませんが興味がない。
- 参加したいと思った。
- 内容が良くわからないと思った。
- どんな内容で準備したらいいのか。
- 諸々知識不足で見解狭く妥当な意見ができませんでした。
- テーマの趣旨がよくわからない。漠然としている。
- びっくりした。
- とても良いことだと思ったが年をとりすぎた。
- 大事なことだと思った。
- なんの事かまったく知らなかった。
- めんどろ。
- 日時の都合が3連休の真ん中なので、参加者のことを考えてないと思った。
- 他県から引っ越しをしてきて間もない時に受け取り、びっくりしました。
- 別に良い事であれば、考えます。
- 市民で意見を出し合って、素敵な街創りをするのはとてもよいと思います。
- 参加の機会が誰にでも与えられるという事。

3 市民討議会への参加できない理由を、差し支えない範囲でお答えください。

(複数回答可)

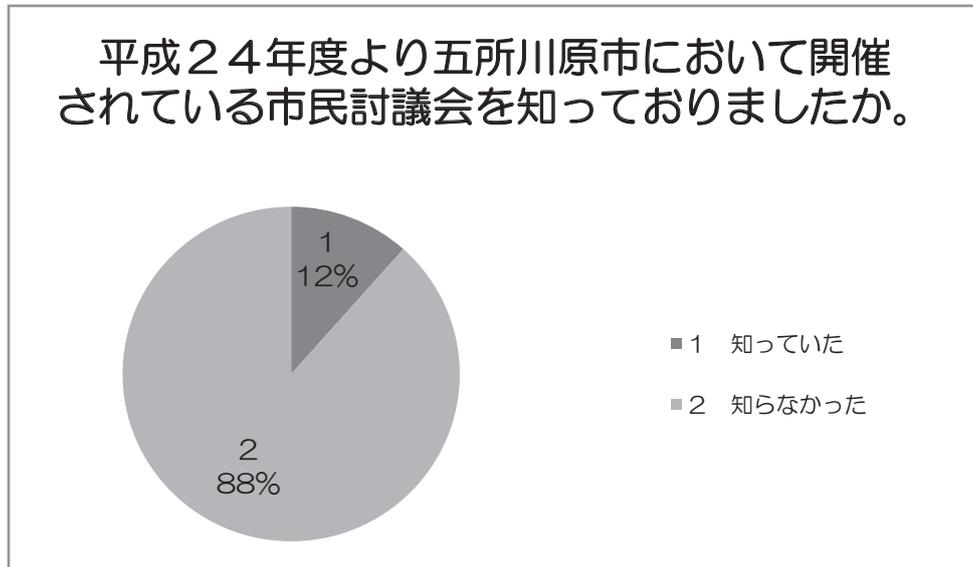


その他の意見

- 病人がいる、一人にできないため。
- 浪人中のため、予備校でテストあり。
- 入院中の為。
- 良いアイデアがうかばない。
- 体調不良の為。
- 世代の若い人に集合を希望する。
- 出産したばかりの為。
- 引っ込み思案で自分の意見が言えない。
- 当日予定有り。
- 忙しい。
- 県外の学校に入っている為。
- 一人では行けない。
- 引越の為。
- 仕事と子供の行事等、優先順位が今はある。
- 車イス生活のため。
- 知識能力がないのでむずかしい。
- 出張のため。
- 妊娠中で体調、体力に問題。
- ボランティア活動のため。
- 中体連県大会と重なった。

- 子供の行事やクラブ活動の送り迎えて、自分自身、手いっぱいです。
- 3連休の真ん中は、ちょっと…。
- 当日、仕事の為。
- 結婚式があるため。
- 現在の住居は東京都。学生で、まだ住所移転届を行っていない。
- 現在、五所川原市と離れて当分帰れないです。
- 討議会に行われるテーマがわかりにくい。
- 旅行のため。
- 私より優秀な人が参加すればいい。
- 行きたいが読み書きできない。意見は言えます。
- 腰痛の為長く座っている事が出来ない。
- 人前に出る事が少ないから。
- 乳幼児（0歳）を預けられない。
- 大学生で五所川原市内にいないので。
- 時間が取れない。
- 障害があり、理解が困難なため。
- 討議会に興味あるが、高齢者なので若い人が1人でも多く出席を望むため欠席。
- テーマの内容が不明なので、参加しても、テーマに沿った意見を話し合えるか分からない為。
- 特にこれといった意見もないのでお役にたたないと思います。
- 明確なビジョンをお持ちの方に貴重な人員枠を使っていた方がより有効であると思ひまして。
- 高齢者のためもっと若い人を。
- 引越してから間もないし、主婦であり町の様子もわからないので、今回は出席は、みあわせたいと思ひます。
- 県主催の類似の会にかつて参加した経験があるが、あまりにも主催者主導型で、知事の返答も紋切り型で、討議するというライブ感が全くなかった。そのことを想い出してしまいブルーになった。
- 1人では参加しづらい。
- 私には難しいと思ひました。
- 年齢差のため。
- よくわからない為。
- 自宅介護の為。
- あくまで転勤での赴任のため。
- 体調的に、時間が長いので。
- 抽選して決めるのであれば、最初からアンケートでいいと思ひた。

- 4 平成24年度より五所川原市において開催されている市民討議会を知っておい
ましたか。



どのように知りましたか。

- 知人から聞いた。
- 広報ごしよがわら(昨年度)。
- 新聞。
- 広報にて6月1日付。
- インターネットから。
- 広報にて6月1日付載っていた。
- 回覧板。
- 友人へ通知が来たのを聞いた。

5 今後、このように市民の意見を聞き話す場が設けられた場合に、どのようなテーマ設定が望ましい(希望)ですか。具体的テーマがある場合は、記載してください。

具体的なテーマ

- ぐらしやすい街。
- 健康について。(だれでも簡単にできて、親しみのあるラジオ体操の推進など)
- 大町の開発は必要だったのか？
- 地域活性のためにどのようなことをするか。
- 一任する。
- 市の中心街の活性化について。
- 農業の未来。
- 五所川原の新しい観光地。
- 全国に知られる市となるためには！。
- 身近な町内で話し合っほしい。
- 市の学校教育について。
- 五所川原市の冬の雇用と生活。
- 子育て。
- 具体的な方向性がわからない。
- 皆の力で五所川原を守る。
- 益々進む老人社会に地区事のきめ細やかな対応。
- 郷土愛、誇りに思えるまちへ。
- 新しい産業の構築等。
- ちょっとした不満解消。
- 五所川原の農産物を日々、もっと買いやすいシステムを作る。
- 自分が住む町の好きな所やオススメ！観光者のために出来ること。
- 市民税の引き下げなど。
- 冬期間快適な街づくり。
- 未来の子どもをどうやって育てるか。
- 市民病院充実。使いやすいゴミぶくろ。
- これから(未来)の五所川原。
- 福祉、介護、一人暮らし老人など。
- ご当地グルメ in ごしょがわら。
- 駅周辺の開発(駅裏開発)。

- 市民参加の観光。
- 活気あふれる街づくりに関するテーマ設定。
- 今のところ思い浮かばない。
- 市中心商店街の復興及び活性化。
- リサイクル等環境問題について。
- 若者の働く場所をどう増やすか。～将来の五所川原を創る・支える世代が他地域（青森、弘前、八戸）より割合が少ない？～
- 若者も老人も安心快適にらせる街づくり、「公共の交通手段」と「スムーズな病院診察」。
- 町の活性化に力を入れてほしい。五所川原市は（町は）楽しめる事がない。
- 大きな内容でなく住んでいる地域の事から、小さな問題。
- 生きごちの良い地域を創るために。
- 福祉 or 地域で取組むボランティアなど。
- いじめの問題。
- ない物を創るのではなく、今ある物に感謝して生かして行く事を考える。
- 芦野公園の桜を守ってほしい。（本年は花がなかった）
- ・観光地、館しか目立つ施設がない。
・菊ヶ丘をもっと設備を充実させ、子供達が、もっと遊べる様にしたい。
- 若者の定住、住み良い五所川原。
- 観光とスポーツによる集客。
- 節税、雪かきボランティア、道路の穴を教える係をつくる。
- 人材創り（才能を育てる教育）事業。あと、場所の設定ではなく一人一人におもむいて、アンケートを直に聞き出す作業が必要だと思う。
- 太刀打に住んでいるが100円バス利用するのに、汽車に乗って500円かかる。バス利用を十川経由～漆川にならないか。
- 医療サービス。（夜間、緊急時など）
- 少子化対策について。
- 自主防災の意識が高められる内容のもの。
- 五所川原中心商店街の再生。
- 子育て支援、サポート。子供を育てやすい街づくり。
- 市民討議会をもっと市民にしてほしい。
- 五所川原市の人口増について。（1年毎に人口数が少なくなっているのに）
- 若者が安心して育児や仕事ができるためにはどうしたらよいか。
- 「ゆりかごから墓場まで」ではありませんが、ここに一生暮らしたいと思える町づくり、古里が大好きといえる町づくりをテーマに…？

- 合併して良くなった点、不便になった点。
- 市民の心が豊かになれるまちづくり。
- 低所得の高齢者のケア。
- 五所川原市役所の人数、半分に減らしたほうが。
- 年代別にプレ会議を行い、そこから浮かび上がったテーマから討議し合う方が良い。テーマが大きすぎると焦点がぶれやすいと思う。ex、分野ごとにフリートークできる場をもつべき。教育、介護、医療、観光等、分野ごとに参集させ大きな『まちづくり』というテーマに結びつけければいいのでは。
- 若者が活気あふれる町づくり。
- なぜ、五所川原市のアパート家賃は、青森市なみに高いのか？
- 『五所川原市に求める対応』。
- 環境美化について。
- 高層化について。
- 町をどのようにもって行くか。でもむずかしい事です。
- 心身共に健康に暮らせる街づくり。
- 立ねぶた中心のまちづくりを考える。
- 方向性に関する市民投票。
- 魅力ある街創り。
- 安くできないか、五所川原市の税金。
- 乳幼児医療の無料化。
- 土地利用の方法。
- 安心して暮らせる町づくり。

6 平成27年に五所川原市は合併10周年を迎えます。私たち五所川原市民にできる記念事業、これからのふるさとの為にできることはありませんか。

- イベント（たちねぶた等）をもっと盛り上げてほしい。
- 立ちねぶたの時期だけの観光客の集客だけでなく、一年を通しての観光地になるような五所川原にはいかがでしょうか？
- 特になし。
- 子供が安心して暮らしていけるよう自然を残す。
- 10周年記念祭を行う。
- 五所川原商工会議所をなくし、まったく関係のない人が新しい会議所を設けると、よろしい。
- 子供たちの事を考えた事業をして頂きたい。10周年を迎えるからではなく、本当であれば、今何を求められているのかを考える必要があるのではないか。
- 教育の向上、観光の活性化、少子化対策。
- せっかく、立ねぶたの館を作って、観光客もきているので、まわりに家だけを建てるのではなく、もっとお店を作るなど、市にお金が入るように工夫した方がいいと思います。
- 特産物の試食会、安価な即売、抽選会の景品、併せて歌謡ショー、はやし等のショー、しじみ・魚・煮たりんご加工品・農産物・金木の笹もち（桑田さん）金木もの・その他、食べる事はみなさん好みます。私も…。
- ふるさとの為に図書館を広くしてほしい。
- 海、山、雪にめぐまれている五所川原。空港からのバスがなくなったのが残念です。関西出身のため、家族、友だちが来るのに困ります。
- エルムにばかり人が集まり、駅周辺が寂しいので、駐車スペースを増やし、気軽に行けるようにし、歩行者天国等毎月イベントをやるとか？
- 住みやすい地域（広範囲に）。
- 農業の6次産業化を中心とするまちづくり。（米、赤いリンゴ、毛まめ等）市が中心となって進めてもらいたい。
- トライアスロン大会。
- 無駄な税金は使わない！
- 排雪事業の強化。
- 町には絶対に原発は造らない事。
- 町の活性化と共に、ふるさとが恋しくなるような人との繋がりを深める。
- 海外に資金流出させてるパチ屋をなくす。
- 道路整備。
- 旧3市町村泊り歩き！いいところ探そう記念事業。
- たちねぶたをもっと伝統的で品のあるものに改善していく事。

- 自分は農業ですが、自分の生活していくのにせいっぱいで、ふるさとの為など考えられません。
- 必要性は感じない。（経費節約のためにも）
- 記念企画イベントとしてミス五所川原、ミス立ちねぶたとか企業協力による無料情報誌の発行（クーポン付）etc。
- この時世なので、建造物よりも27年の立佞武多に力を入れるのが良いと思います。特別なものにするとか…。そのほうが集客力があり、結果五所川原が活発になると思います。
- 記念事業も大切ですが、五所川原駅前の空洞化を何とかくい取められないのか？
- 10周年記念特別企画の観光旅行を全国に打ち出す。市浦の大和しじみを食べ、太宰の斜陽館、立佞武多のコース。記念事業は、金を遣うものではなくて金を生むような事業を考えるべきです。
- オーケストラ演奏会。
- 五所川原は、たちねぶたを軸にイベントをやれば良いと思います。
- 田んぼアート（各地区で）＋豊作三大祭り（各地区の）。
- 若者を県内に就職できるよう取組を行う事を強く願っています。それが五所川原を良くして行く事に確実に繋がっていくと私は、思っています。
- 五所川原市は観光事業に力を入れてると思いますが、弘前市などに比べてあまりサービス・マナーがよくないと感じます。もっと観光客を迎え入れる工夫とか欲しいな！駅前に駐車場をもっと作って下さい！（津鉄に乗る人のため→県外の人に駐車場が少ないと言われました。）駅をもっと明るくして！
- 市議員様ががんばって下さい。よろしくお願い致します。
- 地域環境格差をなくする為には。
- 植樹。
- 金木、旧五所川原、市浦、市民による一斉清掃をやる。
- 町をキレイに！ゴミ拾いなど。花だんに花を植えたりなど。
- 何周年記念より、若い人達の仕事の場を増やす事が、後のふるさとの為になると思います。
- スポーツ大会など。
- 夏祭りの他に、イベントを（全国的なもの）継続させたい。
- 地元に若い人が働ける職場を設けて欲しい。
- ・五所川原→金木までみんなで歩いて景色を見る。
・街に花を飾る。公民館でおもてなしの心を学ぶ。
- ・創作舞台（ねぶた、虫おくり、農業、商業など総合的に表現する）などの芸術的表現。
・市民討議会の頻回開催（場所、金山焼、エルムホール、図書館など）テーマ別に雰囲気を変えイメージを持ってもらうことから始める。集客。
- トラック市やるのはいいけど高い。

- 医療・福祉の充実。市全体の所得の向上。豊かな自然を利用した施設誘致。公共サービスのピーアール活動、宣伝。情報公開。
- 立佞武多の時期だけでなく、1年中立佞武多をアピールすべきだと思います。
- 市民が気軽に参加できる祝賀イベントの開催を期待しております。
- 3. 11にちなみ自主防災の訓練とその指導。
- 有名なキャラクターと五所川原市の特産品などがコラボしたたちねぷたを作る。そしてそのイラストを使ったグッズを作り、期間限定、もしくは数量限定で売る。
- 商店街の活性化。まつり時期しか中心商店街（駅前～大町）に人がいないってのもどうかと思います。
- 花火大会をもっと豪華なものにしてほしい。
- 名物や特産品の考案、PR。年代別に統計を取って、その中から候補を選んではどうか。
- 子供達はふるさとの宝ですので、子供達が楽しめるイベントをたくさん開催してほしいです。あとは、お年寄りの方々がさみしい生活をしなくてもいいような、お年寄りの為の充実したサポートをお願いします。
- 町の活性化の為につながる事。青森県民…寿命最下位の為、健康にすごせるように、スポーツ館等一般が低価格で利用できる施設etc。
- 金木町も大切にしてほしい。
- 若者が住みやすい活気ある町にするため、企画をたてた地域に予算を上げるのも必要である。
- 新しきものと古きものの融合
- 駅前をもっと発展させた方がいいと思います。
- 皆で協力してよい町づくりにしたいです。
- 市内周遊スタンプラリー（市内の観光施設・名所など）。
- その年に生まれた赤ちゃんの写真を市役所ロビー等に展示してはどうか。
- 芦野公園のさくらの植樹、融雪溝をもっと増やして欲しいです。
- 10周年記念事業とか見せるイベント等より、10年後、更に未来に向けて、それを担っていく若者、人の育成（人材育成）プロジェクト等を立ち上げ、継続的な運営を考えていただきたい。
- 記念事業等にお金をかけたり、新しいことをやる事より、今までに行ってきた行事等をなくさないことだと思います。
- 五所川原市がどのようにかかわって来たかの様子。
- 無駄な建設投資をしないで欲しい。
- 五所川原にもっと娯楽施設を作ること。
- 五所川原ブランド（食でも、人でも、土地でも、習慣でも、古美術でも）の発掘、発展、宣伝、保存、人材育成など五所川原としてとりくんできたことの『見える化』とプレゼンテーションを！

- 記念のセレモニーとかがあるなら行ってみたい。
- 漆川工業団地（空き地）に一大太陽光発電基地に出来ないものか。
- 町内会や高校生やのねぶた政策を青森市のように1ヶ所で行い、そのようすを観光客に見てもらう。その結果、後継者の育成と交流につながれば。
- 春夏秋冬と季節ごとに催しが明確にあったらいい。
- 地産品をもっとPRしてキャラクターも作ってPR活動に力を出す。
- 五所川原市の活性化を目指し、道の駅などを設立する。
- 寺町の復興、駅周辺の活性化。
- 若者達の行事。
- 町の中にショッピングモール・無料のパーキング場があればいいかと私は思います。
- 緑を作っていくこと。建物を作っていくより、よっぽど有効的。
- 市民一人一人の意見に耳を傾けてこそ素晴らしいモノが出来る。それがふるさとの為。
- 働く場所が欲しい。
- 記念事業や記念の何かにお金をかけるより、これからのために、若者が五所川原にいて活やくしていけるような市にするためのことにお金をかけた方が良く思う。
- 自分達の地域を自分達でPRしていく事。
- 奥津軽虫と火まつりを立佞武多の夏祭りに一緒にした方が県内外からの観光客に見てもらいたいと思います。
- 既に終わっている駅前～大町周辺の無駄な投資を止める事。
- 五所川原市の魅力をPRするCMを、市民で制作して、放映する。
- 伝統芸能の衰退防止（高齢者養成）。
- ごみ拾いなどのボランティア活動。
- 20代～40代の若くて元気な人の紹介（お仕事・趣味・性格・こだわりなど）。公共施設・公園等の清掃活動（ボランティア）。
- 市民が参加して、五所川原市を盛り上げられるようなイベントを考えたらよいと思う。
- 市民全員が参加できる運動会や、何かの製作などやっていただきたい。せっかくいろいろな施設があるのに…。

7 自由意見（ご意見等があれば記入してください）

- ゴミの分別を、つがる市等のようにしてほしい。プラスチックはもやせるゴミ！回収の回数が少なすぎる。もやせないゴミ週に1回にしてほしい。
- 若い人に任せたい。
- 学校や教育に予算をもっとまわしてほしい。
- 立佞武多の県外への宣伝をもっともって行ってほしいと思います。
- テレビで五所川原広報をながしてみてもどうか。今回の討議会の参加など、特定の人材プラス参加者をつのれば、良い意見が少しでも多く集まるのではないだろうか。
- 小京都のような街作りをしたら楽しいですね。
- 駅前通りが明るく、にぎやかになればいいと思います。
- 1. 本来、このような事業は市の企画課か、総務課で計画され、実施されるのなら、わかるが、何故青年会議所なのか？
 1. 青年会議所の定款は、市に委託されたこと実施することになっているのか？さらに事業内容が、わからない所に参加する必要がないと考える。
 1. 更に問題なのは、個人の秘密である個人情報、市と関係ない、青年会議所に漏れていることが問題である。
 1. また、最も大切なことは、市議会で討議され、ぜひ、実施しなければならないという、決議がなされたものか、もしそういう決議あったならば、何月何日に決定したということ、討議会開催に記載している紙に知らしめる必要があるし、市を創るのは、市議員の大切な仕事を放棄したことになるので、議員は全員、辞職したのが良いと思うがいかに？
- 私は新宮団地に住んでいる者ですが、記念事業とかを考えることもよろしいのですが、その前にこの住宅の建て替えを望んでいます。
土台は腐り落ち、にわか大工でしのぎ、雨が降るとトイレの水が流れ出し、水が引くまでトイレが使えません。
合併前に団地の建て替えの話が聞こえていたのですが、合併後、金木の団地が先に建ったため新宮団地の建て替えはなくなったと聞きましたが、もうこの建物は限界がきています。
ねぶたとか催し物もよろしいのですが、もう少しこの団地のことも考えてほしいと思います。よろしくお願い致します。
- 親子で遊べる場所、レジャー環境が近くにならないため、車で他市へ行くしかない。そうならば他市でお金を使うという状態。五市にもあればいいと思う。
- 金木町にトレーニングセンターほしい。
- 老若男女にやさしい、わかりやすい行政を。
- 安全で住みやすい市に。
- 夏は何とか、生活は楽しいが、冬の暮らしにくさに困る。雪の活用はないか。
- 農家にやさしい環境づくりをおねがいします。
- 私は車イスのため小学校へ選挙時投票に行けません。車イスでも投票できる様にしてほしい。危険な場所（道路）にミラーをつけてほしい。

- 出席しなかったのですが、3連休のど真ん中で、日程的に難しい。残念です。
(単身赴任で自宅に帰らなければならない。) 頑張ってください。
- 再度、機会があれば参加したい。
- 我々高齢者よりも20代~30代を中心に討議をやるべきだと思う。
- もっと若者の意見を聞いてほしい。
- 金木町には現在大衆浴場がありません。行政の素早い対応をお願い致します。
- 五教文ス発第10号 五所川原市小中学校各種大会派遣補助金交付要綱の見直し
(予算は税金、市民を差別している、教育長以下4人で変更した。)
- ①秋のわら焼きは農家に厳重に注意して絶対やめさせる事。
②ネブタの祭りは小中高等ダラダラと歩いていて、とてもダラシがない。(毎度
思う) しっかり並んで踊りを見せる等、やっていただきたい。
- 五所川原といえば、ねぶた!! 盛り上げてみなさんが楽しめたら良いです。
- 立ちねぶたのときでしたか、「市が金を出さない!」と文句つけてる話を聞いて
苦笑いしました。まつりをやるのに市の金あてにしてる時点で駅前に人がもどる
ことはないでしょうね。
文句をつけてる人は財政再生団体になっても良かったんですかね。
- 五所川原駅以外の駅前の整備。
- 市内中心部への予算集中はよいかもしれませんが、あまりまとまりがない景観と
なっているような気がします。当初はもっと違うイメージではなかったのかなと
思います。
- 市役所の係の方(エプロンをして50代~女性、子供に関わる課) 窓口対応を少
し振り返って頂くと良いと思います。
- 除排雪の充実により冬の生活が少し楽になるのでは。
- 地域の公園設備を少し整えて欲しい。子供からおとしよりまでりよう出来るよう
な。
- 市民の意見を市に届ける事が出来るようにがんばってください。
- 未婚者でも住みやすい町。
- 10周年事業については、一般市民(各年令毎とか)もメンバーに入れた企画委
員会として結成した方が良いと思う。
- 老人に対しての運動場がない。老人いこいの公園等(グランドゴルフ場) 回りに
ジョキング、散歩等健康で楽しい一日を過ごすために。
- テーマがばく然としているかと思います。細かいこと、市民にとって重要だろ
うと思われることを話し合うほうが良いので、何か1つに対し深く討議するのが良
いのでは?
- 新・西北病院(つがる?)にひと言。70代の私にとって、駐車場がどのように
整備されるのか、とても不安に感じています。
- 市民がもっと自信を持って語れる歴史や文化を中学生でも分かるような言葉で啓
発して行く事をお願いします。

- ・今年、五所川原市民となり、今後、将来家庭を持つ事を考えると「住みやすさ」という点に関心があります。
- ・現在は、「エルム」一極集中なので、それを軸に徐々に発展して行ってほしいと思います。
- ・高校卒業後の学ぶ所が（大学）ない⇒他地域へ若者流出→大学卒業後、結婚後働く場所がない→将来を担う若者層の人口だけが少なくなる→少子高齢化
- ・五所川原へ進出してくれそうな企業の後押し→働き口の確保→楽しい町、にぎわいある町、ずっと住みたい街を造ってほしいです。
- ・市民に造るチャンス、発言する機会が欲しい。
- 討議会の意見がどんな形で市制に反映されるのか、全くわからない。単なるパフォーマンスではないか。
- 市内の生活は発展しており快適だと思われるが、市内から離れている地域は不便さから人口も店舗も少なくなった。冬は雪の問題も多く、難しい。
- 案内は私にもらいましたが、主人の方がよかった。74才で働いています。農業で働いていますが、若いときは、冬場は、ほとんど出稼ぎでしたので…いろいろものを知っているようです。
- 冬の歩道、通学路、除雪、又栄小学校、エルムヒルニレ団地の通学路、歩道がなく、非常にあぶない。事故起きる前に早急に対応して下さい。
- 一人暮らしの老人が支払わなければならない固定資産税をよく考えてほしいです。一人になったからと言ってすぐに家を小さくは、出来ませんし、老後に生活する費用を残さなければならないので家の解体を出来ない事情もありますよね。（何か良い方法は、ないでしょうか？）ありましたら、広報などで知らせてほしいと思います。
- 生きる望み希望を失いました。（市議員のいらっしゃる町内だけが発展住み心地良い）
- 市のスローガン設定。
- 年に何回も、こういった討議会を、やったほうがよいと思う。予算を市議会にお願いして、一市民としては、ねぶたに力を入れすぎでもっと、他の観光誘致に力を入れてほしい。都合が合えば、ぜひ参加したかったです。
- 依頼されて抽選漏れしたくない。
- 市民の健康向上のために、スポーツアカデミーを安く利用できる日を月に2回位作ってほしい。（4回ならなお可）
- 五所川原市民は不親切が多い、心のつながりがない。
- ・30名は少なすぎ。
- ・商店街、飲食店街の活性化のため、観光に関するホームページの充実。
- 一部の人は一生けん命いろんな事、参加してはいると思うがはたして全市民となったらどうなのか？広報にはのっているとは言うが…。
- 駅前活性化を頑張ってほしい。住んで楽しい街にしてほしい。
- 児童手当は、何故世帯主口座なのか…。
- 各町内に公園をつくって欲しい。コミュニティの場として防災器具管理の場としても松島町8丁目だけははじめからないとは？お知らせください。

- 五所川原市の活性化について、私的意見を述べさせていただきます。
 仕事で、県外の様々な地域に接し、ふるさと五所川原市と比べ様々な事を感じております。
 なかでも、五所川原市といえば？
 と、自分に問いかけ、周りの人にアピールしようとする、何が浮かぶと思えますか。
 青年会議所の皆さんはどうでしょうか。
 私は30数年前、学生時代にふるさとの名称の成り立ちと文化についての課題があり、図書館で立佞武多の存在を知りました。
 五所川原にも、他に誇れるすばらしい文化があることを感じましたが、幻となっていました。
 また、南小学校に隣接する平和町。
 名前の由来は、平和を願う博覧会が開催されたことと聞いております。
 しかし、その事実はあまり知られておらず、資料もほとんど皆無と耳にしております。
 再度、ねぶたと言えば、青森市。桜と言えば、弘前市。五所川原市は？
 学生時代、就職時故郷五所川原市に何が有名とかお祭りは、と問いかけられたり、自己紹介すると、当時は吉幾三さんの『おら、東京さ行だ』、近くに『太宰治の斜陽館』が精一杯でした。
 回りの反応は結局、何の特徴も印象もないのが五所川原市でした。
 その昔、豪商が居たと言ってもその存在を示すものは市内の人も目にすることはありません。
 今現在、五所川原市と言えば、立佞武多、金山焼き、ストーブ列車、斜陽館、安藤安部、十三湖があります。
 地域では、これらは突出する自慢のものでしょうか、全国的には立佞武多もまだまだです。
 唯一ストーブ列車は、有名ですがそれだけを目当てに毎年来て下さる方は、どの程度でしょうか？
 どのくらい前だったか忘れましたが、『走れメロスマラソン』というイベントが開催されました。
 様々な地域から五所川原市に来ていただいたと思います。
 このイベントでは、地域以外の参加者は必ず五所川原市に宿泊し、五所川原駅か駐車場を使用したと思います。
 このイベントも、幻となりました。
 市民マラソン人口は全国で一千万人以上で、年配のランナーは数知れません。
 年配のランナーは旅行を兼ねていろいろな地域でのマラソン大会に出場しています。
 大会運営には、相当の労力が必要ですが、他の地域のレースを参考にし、五所川原市民のおもてなし、ふれあいで、地域をアピールするには効果があると思います。
 私自身が市民ランナーなので、再度出場を希望するする気持の良い地域のレースは多々あります。
 合併で、五所川原市の観光スポットも増えました。
 個々の観光スポットを、一連の観光巡りとし、歴史文化を一日中体感していただくための、切っ掛けが必要です。
 五所川原市をもっと全国にアピールするためには、旅行会社や年一回の東京の宣伝に頼るのでは限界があると思うので、口コミを利用する方がリアルにアピールできると思っています。

そのためには、小学生から大人までみんな知っている、『走れメロス』を用いた大会はものすごいアピールになります。

ただし、最低限ハーフマラソンの距離が必要です。

10km程度のレースなら何処でも行っており、わざわざ10km走るのに遠くから参加しません。

一般的なものとして、ハーフマラソン、10km、5km、3km、ジョギングとかを組み合わせています。参考にしていただければと思います。

次に、市民の憩いの場への希望です。

五所川原市での憩いの場として思い当たるのは、菊ヶ丘公園、グリーンバイオ村、神山フラワーセンター、

不動の滝、克雪ドーム、芦野公園、狼ノ長根等がありますが、他の地域と比べると家族や友人と楽しむには規模が小さく、整備も不十分で子供たちがまた行きたいと思う遊具もなく、寛ぎや憩いを求めるには今ひとつ納得いきません。

ボールを蹴ったり、キャッチボールが出来、グラウンドゴルフも出来る広い芝生。散歩やジョギングが出来、夜でも安心できるロングコース。

梵珠山は、公園と言い難く整備された山です。

青年会議所の皆さんが、また行きたい一日中居たいと思う五所川原市の寛ぎの公園は何処でしょうか。

地球村のような大きな整備が行き届いた、子供がわくわくして安心して遊べる遊具、大人がのんびりくつろげる公園。

板柳のリンゴを主とした公園。鶴田町のような河川敷の整備された公園や鶴の舞橋の公園。

これらには温泉施設付随しています。

余暇、寛ぎは活力につながり、住みよい町心に繋がると思います。

管理費は必要ですが、弘前公園の規模ほどとはならないと思います。

子供たちが自転車で行ける程度の距離にこのような公園が五所川原市にあるでしょうか。

すべて、こぢんまりと点々と特徴なく点在しています。

もっと、五所川原市周辺はもとより、いろいろな地域を見聞していただきたいです。

市外、県外、海外に居る五所川原市民、出身者や縁ある人が、自慢できる、子供たちや学生が自己紹介でうなずいてくれる五所川原市になっていただきたいです。まとまりの無い文章で申し訳ございませんが、意見とさせていただきます。

- 五所川原の「色」って何？目標とする市民像、街の像形がみえるまちづくりを討議して欲しい。「芸術の街」「創作道造り」など道一本、人一人を育てる造ることに独自のこだわりを持っていくことができないものか？（ヨーロッパのように…、中国の考えのように…と様々な見本を並べ考えてみる。）

なんだかねぶたや金木など観光資源のみに頼っているが、365日の中で何回みたい？行きたい？それよりあとの365日弱の日数でどう集客させていくかが鍵であると思う。

人口の増加と共に、そこに住む「人」の資質を育てる環境を早急に整備した方がよいと思います。

余談ですが…、私は五所川原のねぶた文化のレベル底上げの為に青森で精進しております。文化レベルも向上しないと昔のように戻ると懸念しています。

最後に…、なぜか、五所川原地区は働く環境が整っていない。福祉にしろ、サービス業にしろ、賃金設定が低すぎる。若い方に所得が増やせる、もしくはチャンスの後押しする「五所川原」＝「人」創りが必要だと思う。

例えば、「日曜市場」…やりたい人が集まって最高のパフォーマンスが出来る「市」の開催場所を「菊ヶ丘公園」で、芝居・音楽演奏・大道芸など、月2回開催。参加者を地元や地元以外をつのる。

条件としては「オーディション」を行う!!（重要）質の高い「品」新しい「物」最高の「接遇」五所川原に欠けている能力、気がついていても表現出来なかった能力を「気づく」きっかけになる。視野が広がる。青森のA-Line、鱒ヶ沢のC-Pointはすごくよい事業。

「芸術の街」…「街を歩けば芸術にあたる」をコンセプトに金山焼、ねぶた絵など街のいたる所に飾る。また歩きたくなる歩道作り…後に建物景観を見なおす。

（都市計画をやっても、バラバラな印象があり、大町にはガッカリしている市民が多い事実を踏まえて。）

「人創り」…地元の伝説・歴史・教え・食文化など『伝統』を伝えきる事業。伝統作りでも良い。子供たちに何を残したいかを、一部ではなくみんなに知ってもらおう。討議会を頻繁かつ、出張式に（出向く）

この度の不参加大変申し訳ありません。色々書きましたが、五所川原への想いは強いので、どうぞ皆さんで頑張ってもらい、私は影ながらお手伝いさせていただきます。

- 中心商店街を再生させる際には大きめの市営駐車、駐輪場を作ってほしい。
 - ・三浦雄一郎氏を五所川原に呼んで講演をしてほしい。
- 意見を出しても取り上げてくれると思えない!
- 皆さんががんばっている姿を一般の人達にもっとわかってもらいたい。いつも応援しています。
- 親の収入に関係なく、子供は病気になったり、病院にかかる物なのに、医療費の補助には収入制限がありおどろきました。
 - 子供達とお年寄りの方々が一緒に気軽に集まれるような施設や公園、そういった環境を充実させてほしいです。五所川原は、子供にもお年寄りにも優しくありません。
 - どちらにも優しい市を目指して頑張っていたきたいです!!
- 立佞武多にだけにお金をかけないで、税金を安くし、もう少し暮らしやすいようにしてもらいたいです。
- 年齢が近い人（同年代）だけの方が参加しやすい気がします。（個人差はあると思いますが…）
 - 合併10周年といわれて初めて気づきましたが、まだまだ合併前の意識が強い気がします。（金木町は金木町というような。）
- 立佞武多が有名になり、観光客向けのねぶたになってしまいました。どこかの団体に所属し、練習を積まないと参加できない様です。難しいかもしれませんが、子供達が気軽に笛やかねを持ってお囃子に参加できる場所を作っていただければと思います。
- きれいな町づくり!! 例。用水路などから虫がわいてます。臭いなどしてます。
- なぜ、市合併10周年記念事業に青年会議所が関係するのか分からない。
- 市民が利用する施設・公園等の整備をもっとしてくれたらと思います。
- 高齢であり、耳が聞こえにくいので、参加がむずかしい。申し訳ないです。
- 若者等が市に居たい、地元で暮らしていきたいと思えるまちづくりにしてほしい。

- 若者等が市に居たい、地元で暮らしていきたいと思えるまちづくりにしてほしい。雇用問題など、一見しみであっても税も上がり、活性化につながる抜本的構築を望みたい。
- 市民討議会を通して市の方向性を示してほしい。行政に反映して明るい五所川原市を目指してほしい。
- 合併して良くなった点、不便になった点について、10代、20代、30代、70代、80代と言う風に年代別にアンケートをとってその結果を聞いてみたいです。
- 高齢化が、進んでいくので、老人に優しい環境を整備して欲しい。
- エルム通りの赤いりんごの木は何故切ってしまったのでしょうか。赤いりんごの木は五所川原のシンボルのようにニュースにとりあげられていて、花咲くのを楽しみにしていました。
- まずは主催者側の元気と活力を感じさせるものにして下さい。当事者全員が本気にならなければ市民はついていきません。こんな素敵なパワフルは人間がこの地にいるんだ！！というくらいの勢いを自ら見せてみなければなりません。主体的に！！
- 集団見合（あまりにも男女をとわず独身者が多い、人口増、少子対策にもなると思います。）
- 若い人たちがもっと働ける場所があれば良いですね。
- 行政は企業側ではなく市民側の目線でやってほしい。とくに土木建設。
- 市営住宅に入れる条件を緩くしてほしい。
- 市が運営する黒字になるような事業。黒字の場合は義務教育までの授業料（給食費は含まず）・医療費の免除、秋時の場合は市職員の給料カット。大幅な黒字は給料アップ。いずれも歩合。
- 五所川原市の駅前の開発に力を入れてほしい。
- エルムの街周辺に集中せず、全域での五所川原市の活性化ができればいいと思う。
- 10～15mくらいの有名人（や有名キャラクター）の立佞武多をつくれれば、もっと関心が集まるのでは？
- 仕事を増やさないと若い層は県内（市内）にのこらない。つまり、県、市の高齢化が進む。
- 本当は無作為抽出した1500名が参加意欲を示すぐらい市民が市政への関心を持つべきなのだと思います。そして市政へ任せておくだけではなく市民が連携してまちづくりを行って行かなければいけないのだと思います。それを十分理解しているのに、参加しない自分自身はとても未熟だと思っております。すみません。
- 金木支所・金木病院の職員の接客態度が上からの目線である。病院の駐車場で職員の車がじゃまである。通院者の車が止められない。
- 実際いまさらと思います。
- 年令を問わずにこうして話し合える企画はとてもいいと思う。
- 今年度のテーマの住みよい豊かなまち…にはほど遠いと身にしみて毎日生活しています。何事もムダづかいを…きちんと仕訳した方が良いかと思っています。

- 一部の人による一部の人のための行政にならないようお願いします。
- こういった討議会を子ども（小・中学生）に体験させる機会があればいいと思う。
- このような討議会が、ガス抜きや既成事実の形成と誤解されないためにも、『方向性に関する市民投票』や『既に終わっている駅前～大町周辺の無駄な投資を止める事』を検討する事。
- 若い人たちが、県外へ流出しない、地元で働いて、地元で地域の人たちと支え合っていける、そんな魅力ある、五所川原になればいいと思います。
- 市民の収入安定。農業離れ、（田畑）
- 無作為に抽選し、1500名に送付しているこの書類にかかる作業は本当なのか。更に30名程度という人数の確立の低さ。すでに送付している時点で決まっているのではないかと思う。
*市役所員の対応の暗さ・表情には毎回行くたびに嫌な思いとがっかりします。
- 合併はしているものの、合併して良い方へ変わったことがあると感じない。
- 去年から行われていることすら知らなかった。広報はお知らせばかりで読んでみてもひかれるものはない。もう少し誰でも市民の方々が分かりやすく、よんで楽しいものを作ってもらいたい。鶴田町のように。
- 安心して子育てができる市であってほしいと思います。参加しやすい立佞武多祭りになってほしい。規則がキビシイ…
- 子どもの通学路をもっと安全にしてもらいたい。

第43824号 (第三種郵便物)

陸奥新 (00円)



井がへんじいで話し合ひ参加者



市を活性化するアイデアを述べ合う参加者

観光や食振興策探る

五所川原 合併10周年へ意見 市民討議会

五所川原市民が市の将来を考える市民討議会が14日、同市民学習情報センターで開かれた。2015年に市が合併10周年を迎えることを見据え、通年観光の在り方や地元グルメの振興に向けて意見交換した。出された意見は市に提案され、実際の取り組みについても

五所川原市民が市の将来を考える市民討議会が14日、同市民学習情報センターで開かれた。2015年に市が合併10周年を迎えることを見据え、通年観光の在り方や地元グルメの振興に向けて意見交換した。出された意見は市に提案され、実際の取り組みについても

五所川原市民が市の将来を考える市民討議会が14日、同市民学習情報センターで開かれた。2015年に市が合併10周年を迎えることを見据え、通年観光の在り方や地元グルメの振興に向けて意見交換した。出された意見は市に提案され、実際の取り組みについても

まちづくり提案続々

五所川原市民討議会が14日、市民学習情報センターで開かれ、18歳までの男女21人が、自分たちが住む地域のまちづくりについて考えた。

討議会は同市と五所川原青年会議所がパートナーシップ協定を結び、市民参加のまちづくりを進めようと企画され、今年で2年目。昨年の討議会に参加し

五所川原市民討議会が14日、市民学習情報センターで開かれ、18歳までの男女21人が、自分たちが住む地域のまちづくりについて考えた。

討議会は同市と五所川原青年会議所がパートナーシップ協定を結び、市民参加のまちづくりを進めようと企画され、今年で2年目。昨年の討議会に参加し

コーディネーターを務めた平井太郎弘前大学大学院地域社会研究科准教授は「地域活性化の鍵になるのは人材育成。このような場を設け、年齢も立場も違う市民が自ら考え、視野を広げることが重要になる」と話した。

(下山和枝)

(佐藤詩織)

市民のアイデアで市を活性化

市民討議会で市民21名が意見を出し合う

青年会議所と市で組織する五所川原市民討議会実行委員会が、7月14日、市民学習情報センターで市民討議会を開催しました。

市民討議会は、市民参加のまちづくりを進めようと開催しているもので、今年で2年目。無作為に抽出した1500名の市民へ案内



意見を出し合う参加者の皆さん。
市の長所、短所を付せんに書き込み、それぞれ分類。
長所を伸ばし、短所を改善するために、自分が主体的に協力できる活動を討議結果としてまとめます。

書を送付し、参加を希望した47名から抽選で決定した21名(18歳~75歳)が「私たちが五所川原を創る、五所川原市合併10周年を迎えて私たちができること」をテーマに、まちづくりについて意見を出し合いました。

コーデイネーターを務めた弘前

大学大学院地域社会研究科の平井太郎准教授から、討議するにあたり、①自分が主体的に協力できるか②きちんとした効果が得られるか③事業予算は100万円を想定④来年には事業を実施する、の4点を前提に考えるようアドバイスを受け討議がスタート。5つのグループに分かれ、自分たちが感じる五所川原市の長所・短所から、長所を伸ばし、短所を改善するには何ができるのかを議論し、最後に、グループごとに討議結果を発表しました(概要は下段参照)。

平井准教授は、昨年参加した市民らが、らぶ・ごしよがわら実行委員会を設立し、土産品PR活動として地元銘菓のリーフレット作成や試食セット配布を展開していることに触れ「各地で開催されている市民討議会だが、事業化し、市民自らが活動しているのは全国的に見ても少なく、とても素晴らしいこと。市民討議会の最終段階として、皆さんも実行に移してほしい」と総括しました。

発表内容の概要

駅周辺から始まる地域活性化

駅周辺で出店を希望するスポンサー企業を募り、月1回、犀台村を開催。昼から夜間まで歩行者天国とし、市の特産品郷土料理販売やフリーマーケットを開催。送迎車の準備、犀台村利用者の駐車場割引も行う。

ごしよりと五所川原を盛り上げる

五所川原地域ブランドイメージキャラクター「ごしよりん」を活用し、特産品・観光地をごしよりんサイドストーリーで紹介。ごしよりんのイベント・バスツアーのほか、ごしよりん公式Webサイトを開設する。

五所川原を通年楽しもう!

1年間の市内全域イベントスタンプラリーを実施し、リピーター観光客増加を目指す。そのため、立佞武多の雪像作りなど、冬のイベントも創設。インターネットでの情報提供を強化し、ミス立佞武多も開催する。

四季を通じた観光体験を提案し、通年で観光客を呼び込む

高校生がハネトの講師になり、観光客に祭りに参加してもらうほか、四季を通じ、山菜採り、りんごもぎなど、その道の名人から指導を受ける体験型観光と、古民家を宿泊施設とした滞在型観光を目指す。

ラーメンでつなぐ地域活性化

市町村合併10周年を記念し、特産品で五所川原ラーメンを開発。また、市民がリポーターになって市内ラーメン店を巡りリーフレットを作成するほか、ラーメンスタンプラリーで市内全域のラーメン店をPRする。

■討議結果は、報告書としてとりまとめ、後日市長へ提出します。

コーディネータープロフィール

氏名 (フリガナ)	平井 太郎 ヒライタロウ		
生年月日(年齢)	昭和 51年 5月14日 (36歳)		
勤務先	弘前大学大学院地域社会研究科		
家族	妻		
専門など	社会学		
経歴・職歴	西暦		
		2000年	東京大学教養学部教養学科卒業
		2008年	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)取得 日本女子大学人間社会学部学術研究員
		2012年	弘前大学大学院地域社会研究科 准教授(現職)
		2003年	特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 副理事長(現職)
		2010年	小田原市歴史まちづくり協議会 委員(現職)
		2011年	小田原市地域経済振興戦略ビジョン、同文化振興ビジョン策定委員

平成25年度五所川原市民討議会 報告書

編集 平成25年度五所川原市民討議会実行委員会